

大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021

協働支援制度の概要および団体事業募集要綱

2021年5月吉日
大津市市民活動センター

1. 【プロジェクト概要と趣旨】

大津市市民活動センターでは、2018年度より市民・企業・行政・大学の協働で、「SDGs（持続可能な開発目標）」の理解を深めながら、よりグローバルな視点から住みやすいまち・大津を目指す取り組みを展開してきました。2年目よりSDGsの17の目標から具体的なテーマを設定した四者協働事業と、これに関連する市民公益活動を支援先団体として公募・選定したチャリティ事業の2本立てでの取り組みを開始しました。さらに3年目の昨年度はチャリティ以外にも資源のマッチング事業に取り組みました。

4年目となる今年度は、「大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021」と題し、SDGsの「目標1 貧困をなくそう」をテーマに、支援先団体のテーマを昨年から継続して「子ども・若者支援」として募集・採択し支援に取り組みます。テーマを継続した背景は、近年、子どもや若者が置かれた社会的経済的環境が悪化しており、加えて新型コロナウイルス感染拡大により、より深刻化していることにあります。本プロジェクトでは四者協働により、SDGsの目標年である2030年に大人になる子どもや若者によりそう地域社会の創生を目指します。

2. 本プロジェクトで募集する協働支援事業

2021年度に募集する協働支援事業は以下の通りです。

① 募集事業内容

大津市内で運営される子ども・若者の支援に取り組むプロジェクト * 「子ども・若者」とは「子ども・若者育成支援推進法」及び「子ども・若者ビジョン」に基づき、対象年齢を主に6歳から39歳までとします。

<募集事業のイメージ>

- ・ 学校や地域での集団活動や勉強が苦手な居場所の少ない子どもの生活支援事業
- ・ 若者就労準備支援など社会参画の機会を提供する事業
- ・ 不登校経験や家庭に事情を抱えた子どもへの出張活動事業
- ・ 子ども・若者たちの生きづらさについての相談事業
- ・ 社会的支援を必要とする子ども・若者と地域との相互交流を図る事業
- ・ 生きづらさを抱えた子ども・若者の家族や支援者をフォローするための事業
- ・ 大津市内（子どもの生活圏）で、第二・第三の居場所になるような場所や接点を作るような事業

② 募集する対象団体

支援の対象：以下の要件を満たすものとする。

- 1 定款や規約を有する（法人格は不問）
- 2 団体の構成員が5人以上で、その半数以上が大津市民である
- 3 団体設立から3年以上の活動実績を有する
- 4 大津市市民活動センターの登録団体である
- 5 本事業を理解し、事業の運営に積極的に参加する
- 6 宗教活動、政治活動、営利活動を目的としていない
- 7 法人格は問わないが、共益活動ではない
- 8 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるものは除く

③ 事業期間

2022年4月1日から2023年3月末

- * 事業期間は原則としてチャリティが交付される2022年3月31日以降です。ただしチャリティに関わらない範囲において、資源のマッチングにかかる取り組みについては採択からチャリティ交付前を含みます。
- * 2023年3月31日までに事業報告書の提出が必要です。

3. 大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021 の概要

本事業は、①SDGs の推進として「啓発活動」「人材育成活動」「交流活動」「調査研究」を行う、②具体的な SDGs に関連する地域課題の解決の取り組みとして、テーマを設けて（2021 年度は「子ども・若者支援」）公募採択した市民公益活動に対して①の取り組みを通じたチャリティ事業の寄付とともに資源のマッチングを行う、2本立てにより事業者協働を推進します。2021 年度は①については以下のように進めます（●はチャリティ事業）。

- (1) 啓発普及：SDGs、地域貢献、および四者協働について広く市民に周知し、参画を呼びかける。
 - ・ SDGs 子ども絵画コンクール：SDGs の 17 の目標のうち「目標 1. 貧困をなくそう」をテーマに小学生および中学生から絵を募集し、大賞および特別賞を選定する
 - ・ SDGs 子ども絵画教室：SDGs について学びながら絵画の技法を学ぶ（●）
 - ・ くるくるチャリティ BOX：市民公益活動団体が生産・扱う生産物を企業や事業所で頒布し一部をチャリティに充当する（●）
- (2) 人材育成：SDGs について理解を深め、参画・推進する市民や事業所を育てる。
 - ・ SDGs カードゲーム：SDGs について広く市民が学ぶ（●）
 - ・ SDGs フォーラム：SDGs をテーマにした基調講演および関係者が対談する
- (3) 交流促進：SDGs や地域貢献をテーマに市民、行政、民間、大学が交流し、相互理

解を深める。

- ・ ベビーリトミック：親子向けのリトミック講座を行う（●）
- ・ SDGs 秋ホクホク：市民向けの体験プログラムのイベントを行う（●）
- ・ チャリティクルーズ&ウォーキング：SDGs について学びながらウォーキングとクルーズを楽しむ体験イベントを行う（●）
- ・ チャリティコンサート：市民向けの音楽イベントを行う（●）

- (4) 調査研究：SDGs や地域貢献をテーマに四者協働の基盤づくりの要件や方法について調査しまとめる

4. 採択団体数と目標金額・資源のマッチング

採択団体は概ね6団体までとし、寄付目標金額は総計20万程度とする。

資源のマッチングとしては、子どもや若者向けの体験講座企画・居場所づくり、人材や施設、物資を提供するサポートプログラムを採択団体と四者協働により共同開発する。マッチングに際しては、本プロジェクトの関係諸団体のほか、本プロジェクトのチラシ（年間約3万部）やSNS、弊所のミニコミ（年間約1万部）で市民、企業、大学など幅広く情報を発信し支援の基盤づくりに取り組む。

5. チャリティ事業と寄付金の交付

チャリティ事業は2021年4月1日から2022年3月15日とし、2022年3月31日に寄付額を配分する。交付は2022年3月15日時点で集まった寄付額を採択団体で決定額に応じて配分する。事業収益が目標金額に達しなかった場合、また目標金額を超えた場合は、決定額に応じて配分する。

6. 事業団体募集方法

申請団体は下記の提出書類を募集期間内に天津市市民活動センターに提出する。

【提出書類】

- (1) 大津・SDGs 協働支援プロジェクト 2021 支援事業申請用紙
- (2) 規約、定款、またこれらに相当する書類
- (3) 役員名簿
- (4) 直近の事業報告書および収支決算書

(5) 活動がわかる参考資料

【募集期間】 2021 年 6 月 1 日から 6 月 20 日

【提出先】 大津市市民活動センター（大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1 階）

TEL:077-527-8661 FAX:077-527-8662

7. 支援事業の選考方法

「大津市・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021 支援事業選考委員会」にて審査を行う。申請団体が多い場合は、二次審査（プレゼンテーション）を行う。

選考基準は、①公益性、②先駆性、③事業性、④波及効果、⑤継続性である。

選考委員会は 7 月中旬を予定している。選考委員会の評価に応じて、寄付目標金額の範囲内で採択する。

8. 事業への参加協力

本制度は、市民、行政、企業、大学の四者協働で寄付を行うので、採択団体は申請事業の運営においては、以下について協力するものとする。

- ・ 採択された事業で行うチラシ、ポスター、看板、HP などの広報においては、
「大津市・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021」の支援事業団体であることを明記する。
- ・ 本事業に関して大津市市民活動センターから支給されるチラシ、ポスターを積極

的に掲示・活用する。

- ・ 本事業における講演会や交流会、イベント、チケット販売などに積極的に参加する。

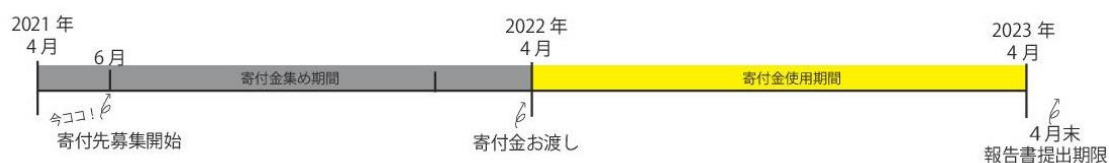
9. 採択の取りやめ

事業期間内に採択団体が申請事業、また寄付の受け取りを取りやめる場合は速やかに大津市市民活動センターに申請するものとする。

10. 事業スケジュール

2021年度の事業は以下のように予定している。新型コロナウイルス感染拡大の状況に留意しつつ必要に応じて判断する。開催に際しては安全性に十分配慮する。

	SDGsの推進事業	SDGsに関連する地域課題の解決の取り組み（支援事業）
2021年4月		チャリティ事業開始
6月		支援事業募集開始（1日） 申請締め切り（20日）
7月	SDGs 絵画教室（31日）	審査会（中旬、 要出席 ）
8月	ベビーリトミック（1日） SDGs 絵画教室（22日） SDGs カードゲーム（27日）	
11月	びわ湖チャリティウォーク&クルーズ（13日） 秋ほくほく（13日） SDGs フォーラム（ 出席推奨 ）	
12月	ベビーリトミック（12日）	
2022年1月	チャリティコンサート（下旬）	
3月		チャリティ事業終了（15日） 寄付額交付（31日）



【過去の取り組み】

2018年度【大津・SDGs推進協働プロジェクト2018】

SDGsの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 啓発活動：おおつ・SDGs 子ども絵画コンクール2018、ポスター制作、ポスター展、コミュニティラジオ出演 ■ 人材育成活動：SDGs 入門講座、SDGs フォーラム ■ 交流活動：SDGs フェスタ
---------	--

2019年度【大津・SDGs ぐるぐるチャリティプロジェクト2019】

SDGsの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 啓発活動：おおつ・SDGs 子ども絵画コンクール2019、ポスター展、コミュニティラジオ出演 ■ 人材育成活動：SDGs 講座、SDGs フォーラム ■ 交流活動：びわ湖チャリティウォーク&クルーズ、SDGs フェスタ、忘年会 de チャリティ大作戦、チャリティコンサート
SDGsに関連する地域課題の解決の取り組み（支援事業）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「貧困家庭の子どもや貧困世帯の支援」をテーマに公募、審査し、「NPO 法人大津夜まわりの会」「NPO 法人日本国債ボランティアセンター（ガザ支援）」を採択 ■ 寄付額合計で約26万円（目標金額20万）

2020年度【大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2020】

SDGsの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 啓発活動：おおつ・SDGs 子ども絵画コンクール2020、 ■ 人材育成活動：SDGs フォーラム、ボランティア育成、インターンの受け入れ ■ 交流活動：びわ湖チャリティウォーク&クルーズ、秋ホクホク、チャリティコンサート
SDGsに関連する地域課題の解決の取り組み（支援事業）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「子ども・若者支援」をテーマに公募、審査し、「NPO 法人あめんど」「NPO 法人CASN」「NPO 法人子どもソーシャルワークセンター」「NPO 法人寺子屋轍」を採択 ■ 寄付額合計で約44万4千円（目標金額20万） ■ 若者の企業見学

	<ul style="list-style-type: none">■ ボランティアの募集、マッチング■ SDGs フォーラムでの支援先4団体と講師（寺脇研氏・元文部科学省、京都芸術大学客員教授）とのディスカッション登壇
--	---